



みなみ川

木脇小児童 稚アユ放流

国富漁協(鈴木輝美組合長、378人)は、木脇小(日高光弘校長、365人)の4年生52人を招き、国富町内を流れる深年川で稚アユの放流を7日行った。写真。

もらおうと毎年実施。鈴木組合長(67)から生態などの説明を受けた後、児童は体長7、10センチの稚魚約7500匹を放流した。川へ放つ前にバケツから飛び出してしまう場面もあり、児童は必死に捕まえていた。

三島大心君(9)は「いつも見ているアユより小さかった。早く大きく育ってほしい」と話していた。

⇒7.5.13 18日